

2021年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月14日

上場会社名 株式会社マミーマート 上場取引所 東
 コード番号 9823 URL http://www.mammymart.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩崎 裕文
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 岩本 潤 TEL 048 (654) 2514
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 2021年6月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第2四半期の連結業績（2020年10月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第2四半期	66,085	12.3	3,360	83.9	3,598	76.5	2,381	86.5
2020年9月期第2四半期	58,833	7.0	1,827	43.2	2,039	36.3	1,276	32.7

(注) 包括利益 2021年9月期第2四半期 2,413百万円 (85.0%) 2020年9月期第2四半期 1,304百万円 (47.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第2四半期	223.89	—
2020年9月期第2四半期	119.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年9月期第2四半期	55,902	27,952	50.0	2,625.29
2020年9月期	55,825	25,847	46.3	2,428.55

(参考) 自己資本 2021年9月期第2四半期 27,927百万円 2020年9月期 25,824百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	18.00	—	30.00	48.00
2021年9月期	—	24.00	—	—	—
2021年9月期 (予想)	—	—	—	18.00	42.00

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無
 2. 2020年9月期 期末 (普通配当18円 特別配当12円)
 3. 2021年9月期 第2四半期 (普通配当18円 特別配当6円)

3. 2021年9月期の連結業績予想（2020年10月1日～2021年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	125,500	1.0	3,900	△17.8	4,300	△16.3	2,700	3.3	253.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期2Q	10,796,793株	2020年9月期	10,796,793株
② 期末自己株式数	2021年9月期2Q	158,827株	2020年9月期	163,022株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年9月期2Q	10,634,970株	2020年9月期2Q	10,679,838株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当期は、新しい生活様式が定着し、当社もあらためて地域のライフラインとして貢献できるよう努めてまいりました。期間中は、コロナ禍による巣ごもり需要のみならず、新しい業態の推進等により売上、利益が大幅に伸びました。

当社グループ（当社及び連結子会社）は、「Enjoy Life!」を基本方針として、「新しい売り方の確立と人財育成」をメインテーマに、「より良い商品を地域No. 1 価格で提供する店舗の構築」、「安く売れる仕組みづくり」、「自ら成長し続ける人財の育成」の3つを重点項目に施策を進めてまいりました。

[より良い商品を地域No. 1 価格で提供する店舗の構築]

「より良い商品をより安く」の企業理念の実現に向け、EDLP型を主体とし、小商圏で地域の皆様のニーズにきめ細かく対応する「新マミーマート」と、広域集客、生鮮部門の専門的魅力を高めた「生鮮市場TOP」の構築を進めております。「生鮮市場TOP」においては、魅力ある生鮮商品・頻度品を、圧倒的な価格で提供し、単品量販することで、1 単品あたりの売上・利益をさらに上げていく新たな販売手法により、共働き家庭等の幅広いお客様のニーズに合致し、業績を押し上げました。

商品面では独自性を発揮し、差異化を図るべく、惣菜を一層強化しております。惣菜の製造、販売を担う当社子会社の彩裕フーズ（株）の自社工場製造の商品は、調理工程の工夫等により、インスタ商品にも引けを取らない味・品質を実現し、お客様から高い評価をいただいております。その結果、8年連続で一般社団法人全国スーパーマーケット協会主催の「お弁当・お惣菜大賞」を受賞し、本年度は全国4万点を超えるエントリーの中から最優秀賞1品、優秀賞1品、入選8品の入賞を果たしました。また、商品開発においては、サンドウィッチを製造する際に切り落としたパンの耳から製造するラスク等、端材をも廃棄せず無駄なく商品化することで、原材料仕入れの効率化、生産性の向上と併せてフードロス削減にも注力しております。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止の一環と致しまして、買物カゴ、カート、レジ周り等店内を抗菌施工し、お客様が安心・安全にお買い物いただけるよう取り組んでおります。

[安く売れる仕組みづくり]

店舗におきましては全部門でマニュアルを整備し、作業を標準化させ、仕事に人をつける体制を整えることで、従業員はこれまでの部門の垣根を越えて作業にあたり、必要に応じた適正人員配置を行っております。また、ローコストオペレーションづくりとして、販売促進方法を日替わり特売中心から、EDLP化することにより、値札の付替え工数や棚替え、品出し等、日々の売場変更にかかる作業工数の低減を図っております。

[自ら成長し続ける人財の育成]

「M3プロジェクト」（主体的改善活動）は、従業員の自主性を重んじた制度です。日々の業務に生じる課題や問題点に対して、自発的な解決のための取り組みを評価し、M3報告の結果に応じて従業員評価にプラスされ、行ったことが報われる仕組みとなっております。活動3年目を迎え、毎年多くのエントリーがあり、主体的に業務改善に取り組む従業員が増えております。この活動が、従業員のやりがい、お客様へのサービス向上、企業利益の改善に結実し、お客様・従業員・企業の三方良しとなることを目標に一層推進してまいります。

設備投資に関して、㈱マミーマートにおいて、2020年10月に生鮮市場TOP足利店（栃木県足利市）、同11月に生鮮市場TOP北上尾店（埼玉県上尾市）を改装オープンいたしました。当四半期末の店舗数は、温浴事業・葬祭事業を含め78店舗であります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結営業成績は、売上高66,085百万円（前年同期比12.3%増）、営業利益3,360百万円（同83.9%増）、経常利益3,598百万円（同76.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,381百万円（同86.5%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、以下のとおりです。

[スーパーマーケット事業]

当第2四半期連結累計期間は、売上高65,888百万円（前年同期比12.4%増）、営業利益3,350百万円（同84.4%増）となりました。

[その他の事業]

売上高197百万円（前年同四半期比15.0%減）、営業利益9百万円（同3.3%減）となりました。（2021年3月末現在2店舗）

(注)「Enjoy Life!」は、お客様に毎日の食生活を通じて健康で充実した人生を楽しんでいただくことを目的とした、当社グループ独自のコンセプトです。

「M3」とは、My Mami Martの略で、企業理念の実現に向けた全従業員参加型の社内改善プロジェクトです。

「EDLP」とは、Every Day Low Priceの略で、頻度品を常時低価格で販売する価格戦略です。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より76百万円増加し55,902百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加によるものであります。

負債は、前連結会計年度末より2,028百万円減少し27,950百万円となりました。これは主に、長期借入金の減少によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末より2,104百万円増加し27,952百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は2,794百万円（前連結会計年度末比283百万円の増加）となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動により獲得した資金は3,046百万円（前年同四半期は2,827百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動により支出した資金は342百万円（前年同四半期は1,129百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動により支出した資金は2,421百万円（前年同四半期は2,593百万円の支出）となりました。これは主に、長期借入金の返済によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年2月12日に公表いたしました「連結業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、実際の業績は様々な要因により予想と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,511	2,794
売掛金	1,842	2,032
商品	2,667	2,642
貯蔵品	12	13
その他	1,422	1,428
貸倒引当金	△22	△2
流動資産合計	8,432	8,909
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,052	10,680
機械装置及び運搬具(純額)	157	177
土地	20,756	20,828
リース資産(純額)	1,949	2,081
建設仮勘定	636	699
その他(純額)	1,456	1,340
有形固定資産合計	36,007	35,807
無形固定資産		
	144	138
投資その他の資産		
投資有価証券	177	210
長期貸付金	207	211
差入保証金	7,050	6,956
賃貸不動産(純額)	393	393
繰延税金資産	2,567	2,553
その他	844	742
貸倒引当金	—	△20
投資その他の資産合計	11,240	11,046
固定資産合計	47,393	46,992
資産合計	55,825	55,902

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,166	7,637
短期借入金	363	800
1年内返済予定の長期借入金	4,332	3,539
リース債務	244	265
未払費用	2,760	2,446
未払法人税等	1,410	1,279
ポイント引当金	—	2
賞与引当金	515	517
資産除去債務	11	11
その他	861	691
流動負債合計	17,666	17,191
固定負債		
長期借入金	5,588	3,971
リース債務	2,608	2,662
長期預り保証金	1,408	1,390
役員退職慰労引当金	343	334
退職給付に係る負債	1,336	1,372
資産除去債務	986	989
その他	39	38
固定負債合計	12,312	10,759
負債合計	29,978	27,950
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,660	2,660
資本剰余金	2,861	2,863
利益剰余金	20,634	22,696
自己株式	△292	△284
株主資本合計	25,864	27,935
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2	25
退職給付に係る調整累計額	△41	△33
その他の包括利益累計額合計	△39	△8
非支配株主持分	22	24
純資産合計	25,847	27,952
負債純資産合計	55,825	55,902

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
売上高	58,833	66,085
売上原価	43,506	49,440
売上総利益	15,327	16,645
営業収入	671	671
営業総利益	15,999	17,316
販売費及び一般管理費	14,171	13,956
営業利益	1,827	3,360
営業外収益		
受取利息	24	22
受取配当金	4	4
不動産賃貸料	112	63
受取手数料	108	111
保険解約返戻金	3	75
その他	81	51
営業外収益合計	334	328
営業外費用		
支払利息	20	15
不動産賃貸費用	100	49
その他	1	25
営業外費用合計	122	90
経常利益	2,039	3,598
特別利益		
資産除去債務戻入益	18	—
特別利益合計	18	—
特別損失		
固定資産除却損	6	41
投資有価証券評価損	76	—
特別損失合計	83	41
税金等調整前四半期純利益	1,973	3,556
法人税等	695	1,173
四半期純利益	1,278	2,382
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,276	2,381

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	1,278	2,382
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19	22
退職給付に係る調整額	7	8
その他の包括利益合計	26	31
四半期包括利益	1,304	2,413
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,303	2,412
非支配株主に係る四半期包括利益	1	1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,973	3,556
減価償却費	845	883
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	—	2
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1	2
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△8	△9
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	39	48
転貸損失引当金の増減額 (△は減少)	△12	—
受取利息及び受取配当金	△28	△26
支払利息	20	15
固定資産除却損	6	41
資産除去債務戻入益	△18	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	76	—
保険解約返戻金	△3	△75
売上債権の増減額 (△は増加)	△625	△190
たな卸資産の増減額 (△は増加)	166	23
未収入金の増減額 (△は増加)	△103	△10
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,047	470
未払費用の増減額 (△は減少)	△426	△225
その他	114	△169
小計	3,066	4,337
利息及び配当金の受取額	4	4
利息の支払額	△19	△15
法人税等の支払額	△261	△1,280
法人税等の還付額	36	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,827	3,046
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,108	△575
無形固定資産の取得による支出	△20	△11
貸付けによる支出	△2	△21
貸付金の回収による収入	17	18
差入保証金の差入による支出	△206	△164
差入保証金の回収による収入	264	281
保険積立金の解約による収入	7	159
保険積立金の積立による支出	△29	△12
資産除去債務の履行による支出	△51	—
その他	△1	△15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,129	△342
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△5,670	436
長期借入れによる収入	6,000	—
長期借入金の返済による支出	△2,353	△2,409
リース債務の返済による支出	△86	△128
自己株式の取得による支出	△289	—
配当金の支払額	△194	△319
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,593	△2,421
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△896	283
現金及び現金同等物の期首残高	2,936	2,511
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,040	2,794

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分)

当社は、2021年1月15日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として2021年2月8日を期日とする自己株式の処分(4,195株)を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において、資本剰余金が2百万円増加し、自己株式は7百万円減少しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	スーパーマー ケット事業				
売上高					
外部顧客への売上高	58,601	231	58,833	—	58,833
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	0	0	△0	—
計	58,601	232	58,833	△0	58,833
セグメント利益	1,817	9	1,827	—	1,827

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、温浴事業と葬祭事業であります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	スーパーマー ケット事業				
売上高					
外部顧客への売上高	65,888	196	66,085	—	66,085
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	0	0	△0	—
計	65,888	197	66,085	△0	66,085
セグメント利益	3,350	9	3,360	—	3,360

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、温浴事業と葬祭事業であります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。